



JASDAQ

平成 18 年 6 月 28 日

各 位

会社名 東新住建株式会社
代表者名 代表取締役社長 深川 堅治
(JASDAQ・コード1754)
問合せ先
役職・氏名 取締役経営推進本部長 飯野 磨
電 話 0587-23-0011

平成 18 年 6 月期通期 (連結・個別) 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 6 月期(平成17年7月1日～平成18年6月30日)の業績予想につきまして、平成18年2月24日付当社「平成18年6月期中間決算短信(連結)」および同日付当社「平成18年6月期個別中間財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 18 年 6 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 17 年 7 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日)
(単位:百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	90,443	3,618	1,655
今 回 修 正 予 想 (B)	90,740	1,013	160
増 減 額 (B - A)	297	2,605	1,815
増 減 率 (%)	0.3%	72.0%	-
(ご参考) 前期実績(平成17年6月期)	72,227	2,518	1,328

2. 平成 18 年 6 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 17 年 7 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日)
(単位:百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	84,566	3,397	1,558
今 回 修 正 予 想 (B)	84,116	1,261	200
増 減 額 (B - A)	450	2,136	1,358
増 減 率 (%)	0.5%	62.9%	87.2%
(ご参考) 前期実績(平成17年6月期)	68,257	2,211	1,153

3. 修正の理由

(連結)

売上高につきましては、個別では前回予想を下回る見通しであります。首都圏における連結子会社の販売が好調に推移した為、ほぼ計画通りの見通しであります。

売上総利益につきましては、分譲不動産販売事業において、都市部を中心とした地価の上昇および同業他社との仕入競争の激化による土地原価の上昇に対応した販売政策を実施いたしましたが、結果として販売価格の見直しを迫られ、計画上の売上総利益を確保することができませんでした。また販売費及び一般管理費につきましては販売競争が厳しさを増し広告宣伝費が増加したこと、今後の業容拡大に向けた営業所・展示場の新規出店を加速したことによる先行投資費用が増加したこと等の要因により、計画より大幅に増加する見通しであります。以上の要因により、経常利益は前回予想を大幅に下回る見通しであります。

当期純利益につきましては、固定資産の減損会計の適用による減損損失が当初見通しを上回ったこと、連結子会社においての赤字幅が計画より拡大したことにより、当期純損失となる見通しであります。

(個別)

主な修正理由につきましては、連結に記載の通りであります。詳細は次の通りであります。

売上高につきましては、ほぼ計画通りに推移いたしましたが、同業他社との販売競争が激しさを増したことにより、前回予想を下回る見通しであります。

売上総利益につきましては、分譲不動産販売事業において、都市部を中心とした地価の上昇および同業他社との仕入競争の激化による土地原価の上昇に対応した販売政策を実施いたしましたが、結果として販売価格の見直しを迫られ、計画上の売上総利益を確保することができませんでした。また販売費及び一般管理費につきましては販売競争が厳しさを増し広告宣伝費が増加したこと、今後の業容拡大に向けた営業所の新規出店を加速したことによる先行投資費用が増加したこと等の要因により、計画より大幅に増加する見通しであります。以上の要因により、経常利益は前回予想を大幅に下回る見通しであります。

当期純利益につきましては、固定資産の減損会計の適用による減損損失が当初見通しを上回ったこと等により、前回予想を大幅に下回る見通しであります。

以 上